

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

夢をかたちに
国際ロータリー会長 李東建
Make Dreams Real



和の心を深め合おう
富津中央 RC 会長 高島治雄

2008～2009

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2085 第16回例会 2008. 11. 6 晴

点 鐘 : 高島治雄 会長
進 行 : 永島 強 副 SAA
ソング : 君が代、奉仕の理想

会長挨拶

高島治雄 会長

皆さん今日は。早いもので今年も11月に入りました。今月の誕生日、結婚記念日を迎えられた方々に共に祝いましょう。

昨日、第44代アメリカ合衆国の大統領が決まりました。テレビの前に釘付けになりましたが、大敗したマケイン氏の敗北宣言も、大勝したオバマ氏の勝利宣言もいずれも引きつけるものがありました。

とりわけオバマ候補の CHANGE, YES WE CAN! の連発は、彼のカリスマ性と相まって人を魅了し、アメリカの未来をこの人に託そうとの思いを強くさせたのでしよう。日本のあるメディアの人が、かのリンカーンを偲ばせる名演説だと言っていました。同感です。

それにつけても米国の歴史上初めて黒人の大統領が選出された訳で、改めて米国民の柔軟性に敬意を感じます。私は現職中にアメリカの東海岸から西海岸にかけて2ヶ月余にわたり研修の機会を持ちましたが、随所に白人と黒人との人種差別の現実を見聞しました。例えば、バスの乗降に、レストランで、床屋で、自分のエリアに黒人が住むと土地の

価格が下がるなどなど・・・。とても当時からは黒人の大統領が選ばれるなど考えも付きませんでした。米国は、そして世界は変革しているのですね。

私は昨日のテレビを見ていてもう1つ考えさせられたことがあります。それはオバマ候補の勝利宣言の演説を聞いている黒人男性もそして白人女性も涙を流しているのです。振り返って日本の場合、首相が国民の前で日本の将来に対する自分の思いを切々と演説してもこんな風景は見られません。誰がやっても同じだよと何か白けムードが寂しいです。私はあの涙にカルチャーショックを感じました。

会長報告

例会終了後定例理事会を開きます。

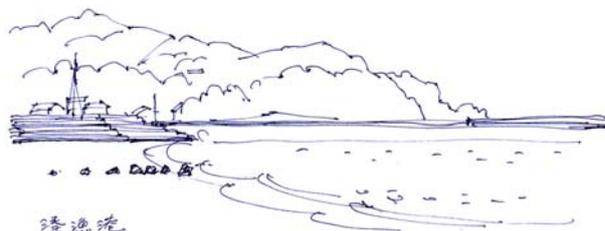
議題 ①11月のプログラム ②細則改定草案
③R 財団・米山の具体的行動計画

幹事報告

佐藤信泰 幹事

1. 次週13日は予定表で親睦家族旅行となっておりますが、通常例会となりますので御承知下さい。
2. 本年度の指名委員長は永島強会員です。12月4日が年次総会の予定ですので準備の程お願い致します。

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



結婚祝



石渡 鋼・栄子 S47. 11. 5
渡辺 務・由美子 H6. 11. 6
刈込碩弥・あや S43. 11. 21

誕生祝



刈込碩弥 T7. 11. 10
志波 克 S6. 11. 30

結婚・誕生一言

刈込碩弥



御祝いを頂き有難う御座いました。90歳になり、

先月の地区大会では長寿表彰され有難い事です。
これからも妻共々与えられた生を楽しんで行きたい
と思います。

志波 克



誕生祝有難う御座いました。30日で77歳になり
ます。

先日ゴルフの帰り、クラブハウス前で仲間と別れ
一人駐車場に向かう時、仕事を終えたらしい従業員
のおばさんから“良いお友達がいて幸せですね”
と声を掛けられ、心から「有難うございます」と言
いました。この年になると、仲間のいることの幸
せを強く感じます。ロータリーはその最たるもの
で本当に有り難いことです。

一昨年75歳になった時、以後は予定オーバー
の人生なので社会のために尽くしたいと言いま
したが、なかなか出来ません。

数日前に民生委員という方が家に来たので、何
か役立つことが出来るのかなと思ったら、「一人
で出掛ける事が出来ますか」、「緊急時助けに
来てくれる人が居ますか」などという調査で
した。通常の社会では奉仕の需要と供給の
マッチングは難しいものです。

やはり、ロータリーから元気を頂戴しながら、
ロータリーを通じて社会の役に立てる様心掛
けるのが、身の丈に合っているようです。



昭和47年
11月6日、東京は銀座のホテルで私たちは静かな朝を迎えていた。都会の朝は



意外と静かで車も少ない。昨日の祝宴の騒ぎを思い出しながら、着け放しのテレビに何気なく目をやる。とそのとき、これは困ったことになるかもと予感させる出来事がそこに映っていた。羽田を飛び立った確かハワイ行きかなんかのジェットが勝浦上空でハイジャックされ戻ってくるというのだ。

昨日入籍と形ばかりの式を挙げ、今日これから八丈島へ新婚旅行に飛び立とうという矢先の事態である。新妻はと見れば不安そうな顔を隠すでもなく「私たち大丈夫かしら」との給う。ここで慌てたり、困った表情はみせられない、もしここでそんなことを悟られたらこの先の夫婦の力関係に影響してくることは明らかだ。「大丈夫、取り合えず空港へ行ってみよう」と急ぎタクシーを呼ぶ。そして高速を羽田へと向うのだが、このタクシーさん、昔言われた神風タクシーか、韋駄天野次馬か、羽田へ向う緊急車両のすぐ後を追いはじめ、通過させて戻る一般車両に警笛を鳴らし、蹴散らしながらついてゆくのである。

しかし制する間もなく、モノレールの向こうの左手に駐機した飛行機の見える辺りまで行くと、大渋滞となりピタリと動けなくなってしまった。ああ助かったとホッとしたものの、新妻はと見れば「私たちこれからどうなるの」と言わんばかりの表情を投げかけてくる。またもやピンチ、この先の長い人生を考えればここでナメラレては負けだ。そこでさりげなく「飛行機が無くて船があるさ」とは言ったものの以前小船で釣りに行って船酔いで往生したことが頭を過ぎる。でも今日は小春日和、船も大きいことだし大丈夫だっぺと生来ののんきな気性があたまをもちあげてしまった。

先のことも判らずに。八丈島行きの船は東海汽船で夜11時何分かに竹芝桟橋から出航するというので、昼間はなんとか浜松町界限で暇を潰し、その

後切符を買いにいってみると、「今夜低気圧が通過するため、出航しても八丈島に接岸できない場合がありますよ」との条件付発券であった。ここで引き下がっては一生の名折れと又々思い「2枚ください」と乗船。船内は結構乗客が居り、3等？船室は大広間にごろ寝状態、いくらなんでも新婚向きではないので、個室に変えてもらったが、金をけちったか、空き部屋が無かったのか定かではないが、4人部屋でもう一組も新婚のカップルだった。

やがて船は静かに出港、大島・三宅島に寄港しながらの航程なのだが、大島近くだったろうか徐々に船体が揺れ始めローリングからピッチングも加わりベッドの上を頭と足がピンポン球状態、丸い船窓から暗い夜空が見えたと思うと、こんどは突き落とされるように水中へと、とても新婚のイトナミどころではない。旧聞はあるが昔、松山空港での新婚さん達の遭難事故が頭をよぎる。(帰ってからの妻の実家の話で、あの夜は急になま暖かい南風が吹きまくって心配していたとのことだった)またまた思う、ここでへばったら一生馬鹿にされる、ガンバロウと囲いの棧につかまって我慢するしかなかった。

..やがて明るくなって三宅島というアナウンスが流れた。もう大丈夫かな、船内をテイサツしてやろうと起き上がって歩き出すが、なんとなくふらつく感じが自分で分かる。2~3分行ったところで口の中にスッパイものがこみ上げてきた。これはヤバイと急いで戻ってベッドへ倒れこむがもう間に合わない、ゲロゲロ、ハーハー、しばらくは内臓が飛び出す思いとはこのこと。新妻は平気な顔をして私の背中を擦り、産物を処理するのだ。「あなた大丈夫？」と言って。又々々思うのだった、俺としたことが一生の不覚こんなことで負目をつくれぬ、ガンバラネバと思えど体はいうことを利かず、ましてやイトナミどころではない。今にして思えばあの時が今の夫婦バランスの序章であったのかもしれない。

そんな航海を昼ごろまで続け、やがて八丈島、三根港に手を振る同級生の姿を発見したとき、やれやれと同時に「俺たちこれからどうなるの」と思った次第。そしてその時カーテンの脇からチラリと見えた同室の新夫さんもこちらと同様の体であった事を付記して完とする。.....ボンボヤージ



結婚祝いありがとうございます。今日11月6日が14回目の結婚記念日だとSAAの永島さんに言われて初めて気がつきました。

14年前の結婚式のことを振り返ると当日はドシャ降りの大雨で、「雨降って地固まる」の言葉もどこか虚しい最悪の天候の中、新装間もないロイヤルヒルズ八宝苑で披露宴を開いたことを思い出します。

新婚旅行は当時人気だったアメリカ西海岸とハワイに立ち寄る一週間の旅行でしたが、高級ホテルに宿泊し、一流レストランで食事をするという結構豪華な旅行をさせていただきました。

今の自分ではとても出来ない贅沢でしたが、年を重ねて時間とお金に余裕が出来たら是非また古女房と行ってみたいと考えています。

米山奨学委員会

永島 強 委員長



先週の例会で秋元カウンセラーが要望された15,000 円/人を達成したいと思います。12月中旬に目処を付けたいと考えています。



今月11月は R 財団の推進月間です。R 財団の生い立ち、活動について今更私から申し上げるまでもありませんが、国際ロータリーが発展途上国等に貢献できるのは、R 財団のプログラムを通じてのことです。つまり、奉仕活動と資金調達車の両輪です。

当クラブでは、今まで財団の資金を利用してマッチンググラント及びガラクタコンサートを行いました。その意味からも財団に対する寄付も一層協力していかねばなりません。

今期活動方針に則り、下記目標を達成したいと思います。

1. 目標

- (1) EVERY 100 \$ 毎年あなたも100ドル
- (2) ポリオプラス ロータリー1億ドルのチャレンジ
3年間毎年1人3,000円

2. 寄付の方法

- (1) 米山記念奨学会寄付とも重複するので、永島委員長と調整し、後日発表する。
- (2) 地区内の寄付実績は来年2月時点での集計で発表されるので、それまでに行いたい。

ニコニコBOX

原田雅式 親睦副委員長

刈込碩弥 結婚、誕生、長寿祝を頂いて

渡辺 務 結婚祝を頂いて

石渡 鋼 " "

志波 克 誕生祝を頂いて 合計 11,000 円

出席報告

原田雅式 出席委員長

在籍19名・出席16名 84.21% 前回 100%